

セメスターシリーズ
Semester Series



AN OUTLINE OF
**AMERICAN
LITERATURE**

アメリカ文学概観

Kenji Inoue



N A N ' U N - D O

An Outline of American Literature

Copyright ©2004 by Kenji Inoue

＝ヒアリング||リーディングの力がつく＝

An Outline of American Literature

アメリカ文学概観

別売カセットテープ 全1巻

収録箇所

テキストの英文が収録されています。

お近くの書店へお申し込みのうえお買い求めください。

まえがき

これはアメリカ文学を初めて学ぶ学生のためのテキストです。アメリカ文学の歴史をアンソロジー形式で40ページ以内にまとめてほしいという依頼を受けたとき、ためらいましたが、授業回数が少ない講義とか Semester 制の講義のための簡単なテキストを要望する声もすくなくないので、思い切って引き受けた結果がこのテキストです。入門の入門のようなものです。紙数の制約があり、編者としては、必要最小限の情報を収めるように心がけたつもりですが、当然のことながら、割愛せざるをえなかった部分が少なくありません。収録した作品例はアメリカ先住民の詩からトニ・モリソンまで40編です。戯曲を省きましたが、文体という点で、サワリを選ぶことは編者の手に余ることだったからです。

文学者や作品の選び方について、女性作家が少ないことなど、異論がでることと思いますが、授業を担当される先生方に補っていただきたいと思います。

例文はほとんど翻訳があるので、巻末にあげておきました。これを機に学生のみなさんが翻訳を通じてでも作品全部を読まれることを期待します。

このささやかなテキストがアメリカ文学に親しむきっかけになれば、編者にとってこのうえない喜びです。

なお、増刷にあたって、旧版中の記述の誤りを訂正いたしました。ご意見を寄せられた先生方に厚くお礼申し上げます。

井上 謙治

目 次

<p>まえがき 3</p> <p>アメリカ合衆国略地図 6</p> <p>1. Native American Literature 7</p> <p style="padding-left: 20px;">1. Love Song (Chippewa)</p> <p style="padding-left: 20px;">2. Warrior Song (Omaha)</p> <p>2. [Captain] John Smith (1580?-1631) 8</p> <p>3. William Bradford (1590-1657) 9</p> <p>4. Anne Bradstreet (1612-72) 10</p> <p>5. Jonathan Edwards (1703-58) 11</p> <p>6. Benjamin Franklin (1706-90) 12</p> <p>7. Charles Brockden Brown (1771-1810) 13</p> <p>8. Washington Irving (1783-1859) 14</p> <p>9. James Fenimore Cooper (1789-1851) 15</p> <p>10. William Cullen Bryant (1794-1878) 16</p> <p>11. Edgar Allan Poe (1809-49) 17</p> <p>12. Ralph Waldo Emerson (1803-82) 18</p> <p>13. Henry David Thoreau (1817-62) 19</p> <p>14. Nathaniel Hawthorne (1804-64) 20</p> <p>15. Herman Melville (1819-91) 21</p> <p>16. Walt Whitman (1819-92) 22</p> <p>17. Emily Dickinson (1830-86) 23</p> <p>18. Mark Twain (1835-1910) 24</p> <p>19. Henry James (1843-1916) 25</p>	<p>20. Stephen Crane (1871-1900) 26</p> <p>21. Theodore Dreiser (1871-1945) 27</p> <p>22. Carl Sandburg (1878-1967) 28</p> <p>23. Sherwood Anderson (1876-1941) 29</p> <p>24. Robert Frost (1874-1963) 30</p> <p>25. Langston Hughes (1902-67) 31</p> <p>26. William Carlos Williams (1883-1963) 32</p> <p>27. F. Scott Fitzgerald (1896-1940) 33</p> <p>28. Ernest Hemingway (1899-1961) 34</p> <p>29. William Faulkner (1897-1962) 35</p> <p>30. John Steinbeck (1902-68) 36</p> <p>31. J[erome] D[avid] Salinger (1919-) 37</p> <p>32. Ralph Ellison (1914-94) 38</p> <p>33. Saul Bellow (1915-) 39</p> <p>34. Bernard Malamud (1914-86) 40</p> <p>35. Isaac Bashevis Singer (1904-91) 41</p> <p>36. Allen Ginsberg (1926-97) 42</p> <p>37. John Updike (1932-) 43</p> <p>38. John Barth (1930-) 44</p> <p>39. Thomas Pynchon (1937-) 45</p> <p>40. Toni Morrison (1931-) 46</p> <p>参考書・例文の翻訳書 47</p>
---	--

アメリカ合衆国略地図



1. Native American Literature (アメリカ先住民の文学)



1. Love Song (Chippewa)

A loon I thought it was,
But it was my love's splashing oar,
To Sault Ste. Marie he has departed,
My love has gone on before me,
Never again can I see him.
A loon I thought it was,
But it was my love's splashing oar.

2. Warrior Song (Omaha)

I shall vanish and no more,
But the land over which I now roam
Shall remain
And change not.



作者と作品 アメリカ最初の文学は先住民(インディアン)の口承文学にはじまる。先住民は約2万8千年前にアジアからアメリカ大陸に移住し、白人が渡来したとき、現在のアメリカ合衆国には約500万人(1990年は1,878,285人)が約300の部族にわかれ、200種類の言語を使っていたといわれる。彼らの文学は口承で、部族によっては絵文字を使った。先住民による英語の著作が現れるのは19世紀になってからである。さいきんではIndianに代ってNative Americanという言い方が多くみられる。

設問 1 アメリカの白人作家の作品でアメリカ先住民(インディアン)が登場する作品をあげよ。また現代のアメリカの先住民作家について調べよ。

◆ Notes

(1) **Chippewa** [tʃɪpəwə] スペリオル湖とヒューロン湖地方に住んでいた部族。 **loon** アビ(北米産の水鳥)。 **Sault Ste. Marie** [sú: seint mə́ri:] スペリオル湖とヒューロン湖の間のセントマリーズ川沿岸の町。 **Ste** = Saint. (2) **Omaha** [óuməhɔ:] ネブラスカ州に住んでいた部族。戦場に赴く若者たちに、はかない命を惜しむことなく戦うように励ます歌である。

2. [Captain] John Smith (1580?–1631)



But the conclusion was two great stones were brought before Powhatan; then as many as could laid hands on him, dragged him to them, and thereon laid his head, and being ready with their clubs to beat out his brains, Pocahontas, the king's dearest daughter, when no entreaty could prevail, got his head in her arms and laid her own upon his to save from death: whereat the Emperor was contented he should live to make him hatchets and her bells, beads and copper; for they thought him as well of all occupations as themselves.

—from *The General History of Virginia, New England, and the Summer Isles*



作者と作品 1607年4月26日、英国人による最初の植民地がヴァージニアのジェームズタウンに建設された。その指導者の一人である Captain John Smith は軍人で中近東、フランスで戦い、冒険とインディアンの教化を目的として新大陸に渡り、いくつかの記録を残した。例文の出典は1624年に出版されたもので、彼がインディアンに捕えられ、処刑されようとしたとき、族長の娘ポカホントスに助けられる場面である。ポカホントスは実在の人物だが、面白いことにこの話は史実でなく、Smith 自身の作り話といわれている。

設問 2 ポカホントスの伝記を調べよ。

◆ Notes

conclusion was (that) 「しめくくりとして」 **Powhatan** [pɔw'hɔtən] ポーハタン族の族長。 **him** スミス自身のこと。 **as many as could** 「このうえなく大勢の人間」 **club** 「棍棒」 **Pocahontas** [pɔkə'hɔntəs] **no entreaty could prevail** 「なんの懇願も役に立たなかった」 **prevail** = succeed. **her own** = her body. **whereat** = at which. **Emperor** Powhatan のこと。 **was contented** = was satisfied. **as well of** = as capable of. **occupation** 「仕事」